

SB-0101_tl ライトユニット 説明書

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この説明書、下記の注意書きなどをよくお読みの上、お楽しみください。

【はじめに】
点灯化キットは、鉄道コレクションに、集電システム、ライトユニット、室内灯を組み込み、ヘッド・テールライト、室内灯を点灯させるためのキットです。
本キットは以下の車種に対応します。
・西武新101系
本キットは、トレーラー車、動力ユニット付き車、どちらにも対応します。(テラツキ対策を施しています。)

注意

- ・この商品は15歳以上のお客様にお楽しみいただける商品です。
- ・機能上小さな部品が使われており、誤飲の危険がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ・機能上尖った部分があります。取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工の際の刃物や工具の取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工、組立の際に出たクズは、すぐに捨ててください。
- ・接着剤・塗料は、火気のない場所で、換気に注意してお使いください。
- ・車両は必ず直流(DC)12V以下で運転してください。交流(AC)は絶対に使用しないでください。
- ・ライト類は必ず動力車と編成を組んだ状態で点灯させてください。また、停止させたまま長時間点灯することはおやめください。
- ・脱線した場合、動力車やパワーユニットが発熱する恐れがありますので、直ちに電源を切り、復旧させてください。
- ・当キットのライトユニット・室内灯は、1両あたり合計最大約30mAの電流が流れます。電源の容量をご確認の上、お楽しみください。

【パッキングリスト】
このキットには、以下の材料がセットされています。加工を始める前に不足がないかお確かめください。

【ライトユニット】

- ・ヘッドライトユニット : 1個/セット
- ・テールライトユニット : 1個/セット
- ・透明塩ビ棒(レンズ用、0.4mm×0.7mm×約35mm) : 1本/セット
- ・黒プラ板(遮光用、0.75mm×1.0mm×4mm) : 2本/セット

【その他】

- ・説明書(本紙) : 1枚
- ・導電性アルミテープ(15mm×約120mm) : 3枚/箱




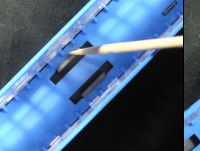
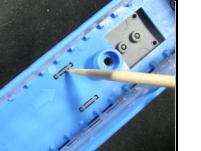


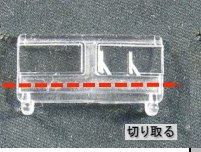
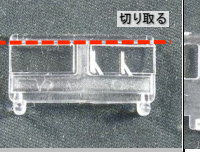
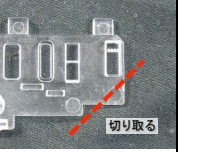
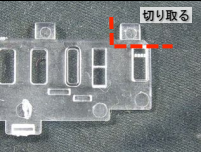
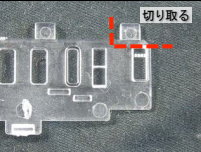

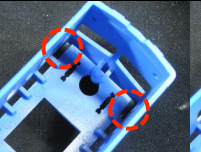



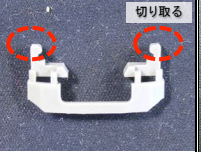

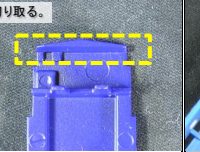

※導電性アルミテープは、楊枝や綿棒などを使って、しわを伸ばすようにして、しっかりと張ってください。
※導電性アルミテープは、導電性の接着剤が塗布されていますが、何度も貼り直していると導電性が失われていきます。接着剤の導電性を活用する箇所では、一度しっかり貼ってしまったアルミテープの再利用は避けてください。

【必要な工具】

- ・カッターナイフ(デザインナイフが望ましい)
- ・直定規
- ・ペンセット
- ・楊枝、綿棒など
- ・ピンバイス(0.3mm, 0.4mm, 0.5mm, 0.8mm, 1.0mm)
- ・塗装面を保護する柔らかい布
- ・ニッパ
- ・ピンチ(プッシュピンなども可)
- ・精密ヤスリ(平、丸、半丸など)
- ・サンドペーパー
- ・ブラスドライバー
- ・ゴム系接着剤
- ・マスキングテープ
- ・瞬間接着剤
- ・木工ペン
- ・プラモデル用接着剤
- ・ポリエステルテープ(ニチバン「マイラップ」、セメダイン「ラビー」など)
- ・瞬間接着剤
- ・遮光用の塗料(黒または銀)

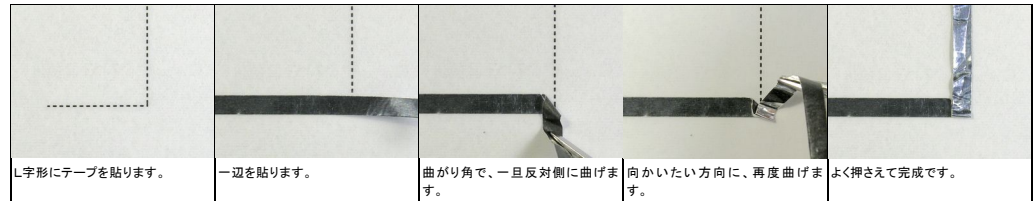
● 取り付け手順

※網かけの項目は、テールライトユニットを取り付けない場合には不要な項目です。

| 1. 分解する | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1-1 床板を外す | 1-2 パンタグラフを外す | 1-3 屋根を外す | | |
|  |  |  |  |  |
| 車体と床板の間を押し広げ、床板を外します。 | パンタグラフは、楊枝などで内側から押し外します。 | テールライトを取り付ける場合は、屋根を外します。まず、ネジを外します。 | 次に、中央のフックを外します。 | 最後に、両サイドのツメを楊枝などで押して、屋根を外します。 |
| 2. 車体を加工する | | | | |
| 1-4 側窓を外す | 1-5 前面透明パーツを外す | 2-1 前面透明パーツの加工 | 2-2 側窓を加工する | |
|  |  |  |  |  |
| 側窓を外します。 | 前面透明パーツは、側窓を外すと自然に外れます。外れない場合は、ヘッドライトレンズを楊枝などで押し外します。 | 前面透明パーツを、前面窓の下約1mmのところをカットします。ヘッドライトレンズは使用しないので保管します。 | テールライトを取り付ける場合は、さらに、前面窓の直上でカットします。 | 側窓前端を、乗務員扉の窓の下前の角に接する45度の線でカットします。 |
| (2-2つづき) | | | | |
|  | 2-3 テールライトレンズを作る | | | |
|  |  |  |  |  |
| テールライトを取り付ける場合は、さらに、乗務員扉窓の上部を四角にカットします。 | テールライトレンズの穴を開けます。上下2灯のうち、上を尾灯としている会社、下を尾灯としている会社がありますので、確認してください。作例では0.4mm×0.7mmの穴を開けました。 | 天井両サイドのスリットのうち一番前のスリットを付風の0.7mm×1.0mm×4.0mmの黒プラ板で埋め、プラモデル用接着剤で固定します。 | ライトボックスとなる部分を、黒または銀で塗装します。光にかざして透けないようになるまで2~3回塗り重ねます。レンズの穴の中も塗装します。 | レンズを取り付けます。内側に0.5mm程度飛び出すように取り付けます。※付属の透明塩ビ板のほか、各社から発売されているライトレンズパーツを利用しても良いでしょう。 |
| 3. 床板を加工する | | | | |
| (2-3つづき) | 2-4 スカートを加工する | (トレーラー車の場合) | | |
|  |  |  |  |  |
| 車体外側のレンズを整えます。作例では、半光沢の黒のエナメル塗料で隙間を埋め、溶剤で拭いてレンズ表面を露出させました。 | スカート付きの車種は、スカートの両サイドのツメをカットします。床板には取り付けできなくなりますので、ゴム系接着剤を使って取り付けます。 | ライトユニットと干渉するので、床板端部の両側の突起を削り取ります。 | シート前端の運転台機器より前の部分(約2mm)をカットします。 | 両面テープを使って、テールライトユニットを取り付けます。 |
| 4. ライトユニットの取付 | | | | |
| 4-1 テールライトユニットの取付 | | | | |

| | | | | |
|--|---|--|--|--|
| 4-2 テールライト下側を遮光する | | 4-3 前面窓ガラスをはめる | 4-4 ヘッドライトユニットの取付 | 5. 配線する |
|  |  |  |  |  |
| ステップ①: 3mm×10mmのポリエスチルテープを2枚用意し、テールライトユニットと前面の間に貼ります。中央で少し重ねて、左右それぞれ貼ります。 | ステップ②: 3mm×8mmのポリエスチルテープを2枚用意し、テールライトユニットとボディ側面の間に貼ります。 | 前面窓をはめます。固定が緩くなっているため、両面テープで固定します。 | ヘッドライトユニットをはめます。緩い場合は、両面テープなどで固定します。 | 5mm×7mmのアルミテープを4本用意します。側窓の内側・両端、ボディとの嵌合部の凸部にテープを貼ります。テープの先端が窓ガラスのリップに当たるようにします。 |
| (5-1つづき) | 5-2 側窓下にアルミテープを貼る | 5-3 側窓をはめる | 5-4 ヘッドライトへ配線する | |
|  |  |  |  | |
| はみ出したテープを側窓の外側に折り返します。綿棒や指でよく押さえ、凸部に馴染ませます。両側の側窓の両端、計4箇所凸部に貼ります。 | 2mm×108mmのアルミテープを2本用意します。側窓の両端の凸部をつなぐように、テープを貼ります。両側の側窓に貼ります。 | 側窓をはめます。※片側2か所程度、両面テープ片を使って固定することをお薦めします。 | 1.5mm×14mmのアルミテープで、側窓下からテールライトの給電パッドまで配線します。※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。 | |
| (5-4つづき) | 5-5 テールライトへ配線する | | | |
|  |  |  |  |  |
| ヘッドライト給電パッドの通電の確実を期して、3.5mm×4.5mmのアルミテープを重ね貼ります。 | 側窓下の通電の確実を期して、2mm×8mmのアルミテープを重ね貼ります。 | 1.5mm×約40mmのアルミテープを使って、テールライトの給電パッドから側窓下まで、Z字形に配線します。屈曲部は、欄外の記事を参考に折り曲げます。余ったテープは切り捨てます。※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。 | テールライト給電パッドの通電の確実を期して、3mm×5mmのアルミテープを重ね貼ります。 | 側窓下の通電の確実を期して、2mm×8mmのアルミテープを重ね貼ります。 |
| ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。 | ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。 | | ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。 | ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。 |

●テープを折り曲げながら貼る

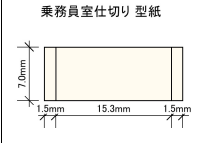




●室内灯を加工する(室内灯を取り付ける場合)



天井のネジの凸部と室内灯の基板が干渉するので、室内灯の四角い穴をLED4の方向に少し拡大します。カッターで何度も傷をつけて、切り取ります。

●乗務員室仕切りを取付ける(室内灯を取り付ける場合にお好みで)

| | | |
|---|--|---|
| 0. パーツを作る | 1 棧を取り付ける | 2 仕切りを取り付ける |
|  <p>乗務員室仕切り 型紙</p> <p>0.5mmのプラ板でパーツを作ります。(遮光に適した黒いプラ板を分売しています)</p> |  <p>乗務員室仕切りの棧を、乗務員室扉後部の壁の中央、後よりに、両面テープで固定します。両面テープは、壁への接着面だけでなく、後側の切口までL字形に貼っておきます。</p> |  <p>乗務員室仕切りを、棧の後側に設置します。</p> |

